

## 確実に進む沖縄伝道所移転工事 —沖縄伝道所移転工事の近況—

大会伝道局書記 齋藤 修

いつも大会伝道局の働きを覚え、大会伝道地のために祈り様々な形でお支え下さいますことに心から感謝致しております。特に沖縄伝道所移転工事につきましては皆様にご心配をお掛け致します。そこで今回は、沖縄伝道所移転工事進捗状況についてお知らせ致します。



右手の山の上が旧会堂跡地

延長となり、同伝道所移転工事が思うように進んでおりません。しかし、同伝道所の移転予定地から徒歩10分程のゆいレール「てだこ西駅」周辺工事は順調に進められています。また、同駅へ向かう関連道路工事も順次着手されています（写真参照）。



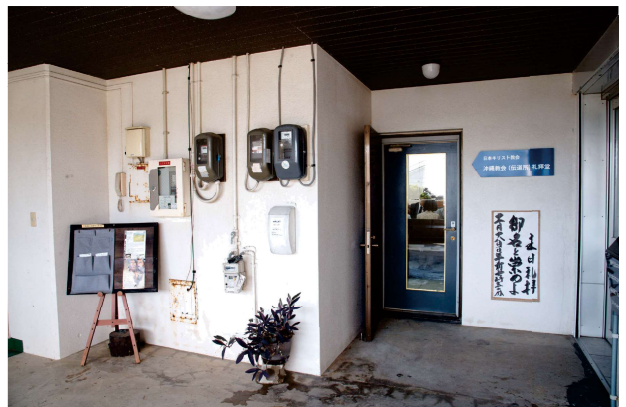
ゆいレール「てだこ西駅」



移転が遅れている鉄塔（鉄塔の手前が新会堂建設予定地）

同工事は沖縄県西原町「西原西地区土地区画整理事業」に伴うものです。そのため、沖縄伝道所裏手丘の上にある鉄塔の移転交渉難航により、土地造成工事が当初の予想よりも遅れ、同事業期間

同事業のこのような進捗状況から推測し、沖縄伝道所移転工事も鉄塔移転・土地造成工事着手に伴い、程なく開始可能であろうと大会伝道局では考えております。



仮礼拝所

# 特別伝道礼拝報告

加西伝道所委員 池水千枝

2018年9月30日、台湾基督長老教会のブヌン（原住民族）中会牧師ディヴァン・スグルマン先生を加西にお迎えした。色鮮やかな刺繍の上着で登壇され、「ピンアン（平安）！」。これは「主の平安がありますように」と台湾の教会員が交わす挨拶だそうだ。

故郷の村のこと、献身の際の思いなども交え、詩編23編について旧約各書に照らしつつ語られた。「人生には多くの困難や挫折があるが、神は困難をも祝福に変えられる。詩編23編をじっくりと読むことで、くすしき恵みを味わうことができる。『主は羊飼ひ。私には何も欠けることがない。』このみ言葉を心の中に置かなければ、私たちは永遠に『足りない』と思いつけるだろう。困難に直面する時、誰もが『早く取りのけて下さい』と望むが、時には苦しみによって益を受ける。受けるだけでなく、喜んで捧げなければならない。神からの賜物をどう分かち合うかは、私たちの信仰の課題であろう。」と説かれた。

先生は、2005年に日本基督教団の応援牧師として来日された時点から、説教の翻訳や絵本で日本語を独学されたとか。そうは思えない豊かな内容のお話だった。

午後からの集会は、台湾基督長老教会や原住民族の現状、北海教区の活動など、多くを学ぶ機会となった。台湾では、漢民族が故人に「先」を使い、「既に亡い」意味があるため、「先住民」ではなく「原住民族（イェンツーミンツー）」と呼ぶ。長老教会に15の原住民族中会があり、教師試験では、部族の言語による説教が必須だそうだ。

「自分の言葉で福音を伝えれば、聞いた人たちもそれを自分の言葉で伝えることができる。だから拮がってゆく。村を出ると、どうしても母語を忘れてしまうが、礼拝で母語を使用することでだんだん母語で会話できる人が一定保たれている。」

「台湾は中国の一部といわれるが、もともと独立国。国民党が来る前には国連に加盟していた。1946年二・二八事件後北京語が強制され、長老

教会は母語使用のため何度も闘い、命懸けのデモもあった。台湾の名前で世界に発信できるよう、頑張る。」というお話に、歴史ある国民が政党の争いに巻き込まれてしまった矛盾、複雑さを思わされた。

音楽交流など日本基督教団との交わりをきっかけに日本へ派遣された先生は、札幌富岡教会の応援教師を務めながら、アイヌ民族情報センターのスタッフ、帯広の勉強会に出席と幅広く活動されている。

「台湾では、独自の文化を大事にできるよう、各部族を長老教会がサポートしてきた。北海道でも同様の活動ができないか。貧困、就職などアイヌの人たちも似ているが、どのようにサポートするか課題。かつての宣教師との関係から、教会に対する抵抗感も一部にある。まずは、“いつも居る人”になり、いつでも声をかけて下さいねという気持ちでいる。10年以上かけて、少しずつ関係を結べるようになった。言葉が通じなくてもOK。今まで出逢ってきた人たちを大切にしたい。広い北海道に居て感じるのは、距離は遠くても関係は近いという、人と人とのつながり。」天満先生が神学校時代に出会ったディヴァン先生をはるばるお迎えし、ともにみ言葉に聴く時を与えられた一日だった。

\*私自身80年代の一時期帯広で過ごし、アイヌの人たちへの差別、文化の危機を知ったが何もできなかったことを思い出す。ともに居る、傍に立つ、先生ご自身と北海教区の働きに祝福がありますように。



# 秋田教会をつないでいくために

秋田教会長老 柴田 理

秋田教会では昨年11月18日、雲雀ヶ丘伝道所の吉平敏行先生をお迎えして、大会応援伝道を行うことができました。

その頃秋田教会は、完全に無牧師の状態でした。2年間御夫妻で牧師館に住んでくださり、応援教師として礼拝説教のみならず、様々な集会で指導してくださった鈴木攻平先生は4月に神戸にお帰りになっていました。

礼拝説教は、毎月第二主日は代表役員代務者の中家契介先生に聖餐式・小会議長と併せてお願いし、それ以外は東京中会の先生においでいただいたほか、安彦晴樹神学生を中心に長老も説教を担いました。また、関東から日帰りでおいでくださる先生が多かったことから、礼拝開始時刻を15時30分としていました。

そのような中、1人1人の信仰の導きに熱く配慮して開拓伝道をお続けになっている吉平先生に大会応援伝道の講師をお願いしました。

“秋のオープンチャーチ”としてビラをつくり、会員が知り合いに配るようにしたほか、30人ほどの方に案内の葉書をお送りしました。

当日は、正午から吉平先生を囲んで“きりたんぼ”を味わった後、『『今日における伝道』への一つの提案』として、講演をお聞きました。

現在は、宗教に対する不信感があることに加えて、情報過多の時代であり、チラシ、家庭訪問やホームページの効果がほとんど無くなっていること、また社会から遊離してしまった教会が、標準的に生きている人とどのような関係を持つかが問われていること等、今の社会と教会との関係について、改めて考えさせられました。

その後行われた伝道礼拝の出席者は、前月の平均出席者数23人より少ない22人に留まり、大変残念ながら新たな来会者を迎えることはできませんでした。説教はマタイによる福音書14章22～33節によるもので、信仰生活の長い者に留まらず、初心者にとっても力強く、信仰の背中を押し

ただけそうな説教であっただけに、悔いを残す結果となりました。いくつかの要因が考えられますが、やはり地道に声をかけ続けることの大切さを思われました。それから先は神様がご判断下さいます。

その後、長い間願ひ続けた牧師が遣わされることになり、今年2月の定期総会及び3月の定期中会を経て、駒井利則先生が秋田教会の牧師として来てくださいました。4月14日に駒井先生をお迎えして献げた初めての礼拝は感慨深いものでした。5月2日には就職式が行われ、中会議長の富永憲司先生をはじめ、多くの先生方や会員の皆様、県内の他教派の方々も祝福に訪れてくださいました。

私たちは、牧師が遣わされたことに安住してはいられません。信仰を継承していくために、秋田教会を次に繋いでいくために、鈴木攻平先生がおっしゃったように毎週を伝道礼拝として、駒井先生と共に力を尽くしてまいります。引き続き祈りのうちにお支え下さるようお願いいたします。



## 今年度前半の大会応援伝道

久留米教会 6月9日(日)午前

講師 久野 牧(函館相生教会牧師)

佐賀めぐみ教会 6月9日(日)午後

講師 久野 牧(函館相生教会牧師)

# 会計報告、教会別献金総額

## 会計報告

(単位:円)

科 目	2017年		2018年		備考
	(1月1日-12月31日)		(1月1日-12月31日)		
	予 算	決 算	予 算	決 算	
(収入の部)					
大会伝道献金	6,400,000	6,380,000	6,100,000	6,406,500	
個人団体献金	2,500,000	2,759,640	2,400,000	2,485,400	
雑収入	500	275	500	275	
沖縄会計より	0	1,476,464	0	0	
運用資金より	0	0	1,800,000	1,469,796	
前期繰越金	300,000	486,841	0	0	
合 計	9,200,500	11,103,220	10,300,500	10,361,971	
(支出の部)					
伝道地補助金	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	(注1)
大会応援伝道費	1,000,000	1,010,092	1,000,000	1,238,826	
問安費	600,000	687,856	600,000	584,233	
開拓伝道準備費	100,000	0	100,000	0	
事務費	400,000	499,802	400,000	385,623	
理事会費	900,000	946,800	900,000	863,289	
運用資金へ	0	668,670	0	0	
子備費	410,500	0	10,500	0	
次期繰越金		0		0	
合 計	10,700,500	11,103,220	10,300,500	10,361,971	

注1「伝道地補助金」(7,290,000円) 九州中会への旅費補助 250,000円  
 沖縄伝道所 240,000円x16月=3,840,000円  
 岡山伝道所 200,000円x16月=3,200,000円

48	世田谷千歳	82,500	93	池田	77,000
49	習志野	105,800	94	豊中央	72,500
50	南浦和	151,200	95	宝塚売布	92,500
51	南柏	84,200	96	西宮中央	254,800
52	東京主僕	64,600	97	夙川	115,800
53	小平	90,500	98	住吉	68,600
54	袋井愛野めぐみ	41,400	99	神戸布引	45,700
55	東京告白	24,000	100	神戸湊西	111,700
56	仙台黒松	94,000	101	明石大久保	49,200
57	宇都宮松原	44,400	102	新宮	70,200
58	磐田西	47,500	103	出雲今市	19,300
59	大和	76,400	104	尾道西	40,400
60	上田	56,300	105	広島長束	60,700
61	荻窪北	29,900	106	徳島	39,400
62	上溝	11,100	107	観音寺	36,900
63	大宮東	8,300	108	高知旭	52,800
64	静岡池田	23,600	109	岡崎	12,300
65	恵泉	11,100	110	近江草津	6,900
66	東京中央	28,800	111	奈良	8,300
67	金目	8,300	112	泉北	13,900
68	稲田堤	26,400	113	神戸桜が丘	16,600
69	西経堂	15,200	114	加西	31,900
70	古河	12,500	115	姫路	9,700
71	郡山	12,500	116	熊野	12,500
72	下館	8,300	117	宇久井	8,300
73	福島	8,300	118	岡山	20,800
74	多摩ニュータウン永山	27,800	119	米子	13,500
75	志木北	27,800	120	高松	18,000
76	つくばびたち野	28,600	121	下関	41,500
77	府中中河原	52,500	122	大分中央	18,000
78	雲雀ヶ丘	10,000	123	小倉	22,000
79	名東	165,000	124	志免	11,000
80	岐阜	105,800	125	福岡城南	164,100
81	大垣	94,000	126	福岡筑紫野	13,000
82	大垣荒尾	33,000	127	久留米	40,400
83	亀山	17,600	128	柳川	21,100
84	福井宝永	22,800	129	佐賀めぐみ	31,600
85	吉田	74,400	130	島原	0
86	西都	116,600	131	折尾	8,300
87	高槻	86,200	132	八女	8,300
88	香里園	92,900	133	長崎	26,000
89	大阪北	87,300	134	熊本	0
90	大阪西	133,900	135	沖縄	9,700
91	大阪姫松	220,500	136	宜野湾告白	4,100
92	北田辺	19,200	137	九州中連婦	10,000
				総合計	8,891,900

## 2018年度教会別献金総額

(2017年1月1日～12月31日)

教会名	金額	教会名	金額
1 函館相生	159,800	24 森	2,700
2 札幌北一条	531,300	25 夕張	6,900
3 小樽シオン	74,400	26 美瑛	0
4 旭川	107,800	27 札幌手稲前	4,100
5 北見	74,400	28 北檜山	4,000
6 遠軽	35,200	29 富良野	22,200
7 滝川	45,500	30 北広島山手	31,900
8 聖園	25,300	31 奈井江	9,700
9 室蘭	74,400	32 大森	182,000
10 伊達	35,200	33 蒲田御園	138,200
11 美深	3,500	34 鶴見	429,000
12 苫小牧	42,600	35 横浜長老	141,400
13 遠浅	38,700	36 横須賀	26,400
14 札幌琴似	149,000	37 湘南	87,200
15 札幌桑園	112,100	38 秋田	52,800
16 札幌豊平	30,000	39 柏木	506,000
17 札幌発寒	64,600	40 栃木	90,100
18 釧路	40,400	41 小山	14,000
19 札幌白石	38,700	42 浦和	174,900
20 森林公園	47,500	43 房総君津	54,800
21 稚内萩見	21,100	44 横浜海岸	356,400
22 佐呂間	19,300	45 茅ヶ崎東	133,600
23 帯広	31,600	46 豊島北	60,700
		47 鎌倉栄光	168,200